

提案した政策の進捗状況について

「学童の開所時間延長」「学校の漏水対策」等、議会で提案した政策が、着実に実現しています。

■学童の開所時間延長が実現！

長年、取り組んできた「全学童の開所時間延長」が、今年4月から実施されることになりました。今回、明らかにされた開所時間延長のポイントは、
○平日は午後7時まで利用時間を延長できること（延長利用を希望する場合、月額3千円の育成料が必要）

○長期休業時も含めて、学校休業日は午前8時30分からの利用が可能になったことの二点です（表④参照）。「子育てするなら西宮」に相応しいまちづくりのため、子育て支援策の一層の充実に取り組んでまいります。

【表④】開所時間延長の内容

	現行	規則改正後	
		通常利用	延長利用対象時間
小学校の授業日（平日）	下校時 ～PM5時	下校時 ～PM5時	PM5時 ～PM7時
小学校の休業日（平日）	AM9時 ～PM5時	AM8時30分 ～PM5時	PM5時 ～PM7時
小学校の休業日（土曜日）	AM9時 ～PM5時	AM8時30分 ～PM5時	

■学校の水道料金を大幅に削減！

2007年12月議会において、学校・水道料金の
○異常値を示している事例が多数存在する
○原因は漏水・不適切使用と思われる
という問題を指摘しました（表⑤・⑥参照）。

【表⑤】同じ学校の水道料金が、年度によって大幅に異なる例

	過去5年間で最も高い水道代/年	過去5年間で最も安い水道代/年
大社中	1,143万円	529万円
甲陵中	1,078万円	595万円
塩瀬中	920万円	471万円

【表⑥】利用人数が、ほぼ同じ学校間で、年間の水道料金が大幅に異なる例

	生徒+教職員数	過去5年の平均水道代/年
浜甲子園中	311人	910万円
平木中	313人	343万円

その後の調査・対応の結果、指摘前の2007年4～10月と2009年4～10月を比較すると、**市立小・中学校の水道料金は全体で約3,130万円安くなりました。**効率的な行政を実現するため、こうした無駄の根絶に積極的に取り組んでまいります。

■諸事雑感

本年1月15日、西宮市長が昨年11月から続けていた入院治療を終了し、自宅療養に移ることが発表されました。今後も、実質的には市長不在の状態での行政運営が続くこととなります。

ここに至るまでの一連の経緯・マスコミによる報道の内容・当初から懸念されていた高齢問題等からも、今後の行政運営に対する不安・懸念は非常に大きいと言わざるを得ません。今後、どのように事態が推移していくか、予断を許さない状況が続くことが予想されますが、市政を監視し、向上する責任を持つ市議会議員の一員として、私が必要だと信じる指摘・提案・活動を続けてまいります。

澁谷 祐介：西宮市議会議員／二期目

- 昭和48年12月26日生まれ。B型・山羊座。
- 市立浜脇小・浜脇中・私立明星高・京都大学経済学部卒業。
- 平成8年4月より平成16年8月まで阪急電鉄株式会社勤務。書店ブックファースト・アズナス(コンビニ)等、小売事業を中心にキャリアを積む。
- 平成16年11月、西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。現在二期目。
- 好きな言葉：一利を興すは一害を除くに如かず
- 好きな作家：司馬遼太郎
- 尊敬する人物：織田信長

>>>more!

”しぶや祐介”

<http://y-shibuya.blogzine.jp/blog/>

↑こちら↑で、日々の詳しい活動のご報告や政策を、ご覧いただけます。ぜひ、ご覧下さい。

しぶや祐介事務所：〒662-0927西宮市久保町1-16-202/e-mail:shibuya@room.ocn.ne.jp

西宮市議会議員

しぶや祐介

市政報告・第20号×2010年2月

私たちが暮らす、
西宮の未来のために。

浜脇小・浜脇中・明星高・京都大学卒
元阪急電鉄(株)勤務 行動する政治!

TOPICS&CONTENTS ～今号の目次&内容～

- ◆行政としての責務/
事業・制度の取捨選択・重点化を！
- ◆一般質問のご報告①/
人事・給与制度の見直しを！
- ◆一般質問のご報告②/
通勤手当の運用の見直しを！
- ◆一般質問のご報告③/
「子育てするなら西宮」の実現を！
- ◆進捗状況のご報告/
議会で提案した政策が、着々と実現しています

行政としての責務を果たすために！

厳しい財政状況に対応するためにも、
事業・制度の取捨選択・重点化を進めるべきです。

■市税収入の大幅減

12月議会において、当初予算の市税収入見込額839.6億円を大幅に減額修正し、821.2億円に改めることが明らかにされました。見込額からの減少幅は18.5億円。これは昨年度の黒字額17.5億円を上回る巨大な金額であり、今年度の財政運営は非常に厳しいものとなります。しかも市税収入は、来年度も大幅な減少が予想されています。本市の財政状況は、今後一層、厳しさを増していきます。

■責務を果たすために

福祉・教育・子育て支援等、行政には財政状況に関わらず、取り

組まなければならない事業が多数存在します。

厳しい財政状況の下、こうした事業に積極的に取り組み、「公共の福祉の増進」という、行政の責務を果たすためには、
○現在、行っている事業・制度の無駄を無くし、効率化を図ると共に、
○必要な分野に対して、限られた経営資源を集中して投入することが重要です。今回の一般質問では、こうした考えに立って、
○人事・給与制度に関する指摘
○保育所待機児童の解消を含めた、子育て施策に関する指摘と提案を行い、市から前向きな回答を得ることができました（詳細中面）。